

「道德のまち笠松」の取り組みが11年目を迎えました。10年を一区切りとすれば、新たな10年への第一歩となる今年度、道德のまち笠松委員会や推進会議では、オレンジ色をイメージカラーとし、次のような活動で、道徳的な風土づくりを進めていくことを話し合いました。

- ・町あいさつ運動・・・年3回、笠松中学校生徒会が主体で行う運動です。先日、第1回目が実施されました。あいさつの輪がさらに広がることを願って支援しています。
- ・トンボ天国クリーン大作戦・・・今年度は7月8日(日)に実施する予定です。草、竹、ゴミの除去で、笠松町の恵まれた環境を守りましょう。
- ・第5回“かさまつ いいね”写真展・・・笠松町の素晴らしさを再発見する写真展です。10月から作品募集しますので、素敵な作品をお寄せください。
- ・あいさつ絵本の活用・・・「道德のまち笠松」作成の「あいさつ絵本」を活用し、年長児に対して道徳授業を行います。
- ・リバーサイドカーニバルへの参加・・・「道德のまち笠松」をPRするために、毎年ブース出店をしています。一度、お立ち寄りください。

この他にも、他団体と共同して「地域清掃活動」「会い(あい)・Eye(あい)・挨(あい)ラジオ体操」などを予定しています。

「道德のまちづくり」の願いは、町民の皆さんが道徳的な心をもって、日々の生活を送ることです。まずは「道德のまち笠松」の行事や活動に参加してみてください。町民の皆さんをはじめ、笠松町に関わる方々のご支援、ご協力をお願いします。



道德のまち笠松委員会の様子

かさまつのお話し「昔むかし」
お馬さまのおとしもの③

父から熊手をかりてやってみた。しかしなかなかうまくできなかった。両手を馬糞の中へ入れた。馬糞には、まだぬくもりがあった。

父は、馬糞の中へ手をいれてとったことをほめてから、馬糞を作物の根元にやると、作物の育ちは目にみえてよくなってくることを話してくれた。とくに、すいかやこうせきうりにはよく効き、馬糞をやったのは、他のものより、あま味が出て、いい味になる。菊にも糞をやるのは濃緑色になって光ってくる。やがて秋になると大きい花を咲かせるのだ。

おとしよりはこんなに大切なことやしを落してくれる「馬」のことを「お馬さま」と言い、馬糞のことを「お馬さまの落とし物」とよぶようになった。「お馬さまの落とし物」が大変

よいことやしであることがわかった。百姓は競争して拾うようになり、やがて拾う場所まで決めるようになった。

子どもたちはおぼんにおぼん、おぼんになると、おいしいすいかやこうせきうりが食べられるので、それを楽しみにして、いっしょにけんめい拾った。こんな話を聞いたものだった。

あの時の彦作は、もうおじいさんになっていて、今朝も自転車の荷台に小さなミカン箱をつけ、競馬場の近くへ「お馬さまの落とし物」を拾いに出かけて行った。



(おわり)

かさまつのお話し「昔むかし」は昭和54年に発行されました。笠松中央公民館 松枝公民館 総合会館でご覧いただけます。